



はじめに

本町においては、本格的な高齢社会を迎えており、今後の人口推計ではさらに高齢化が進む見込みとなっています。また、高齢者のいる世帯、特に1人暮らしの高齢者世帯の増加が続いてますが、一方で元気な高齢者が多いことや、地域のつながりが強いことも本町の特徴です。

今後増加する高齢者の様々な支援ニーズに対応するため、「竜王スマイルエイジングプラン2024（竜王町高齢者保健福祉計画・竜王町介護保険事業計画）」（以下「本計画」という。）を策定しました。

本計画においては、令和22（2040）年を見据えた目標を設定し、ロジックモデルを用いて達成すべき成果指標を整理しました。成果指標の達成に向け、竜王町介護保険事業者連絡協議会の設置や、「竜ウォーク」の取組に力を入れ、『いつまでも自分らしく暮らせる共生のまち 竜王』を基本理念に、だれもが住み慣れたこのまちで安心して笑顔で暮らし続けられるよう、各事業を展開していきます。

1. 計画策定の趣旨



令和7（2025）年には、いわゆる団塊の世代が75歳になることで後期高齢者が急増します。さらに令和22（2040）年には、いわゆる団塊ジュニアの世代が65歳になり、前期高齢者の急増が想定されています。要介護認定率の高い85歳以上人口の増加も見込まれ、介護給付費のさらなる増大を目前に、介護保険制度の維持や、新たに介護サービスを提供する人材の確保、介護離職の防止が大きな課題となっています。

加えて、子育てと介護を同時に抱えるダブルケアや、生活困窮世帯、老老介護などの複合的な課題が増加しています。多様化したニーズに対応するためにも、地域住民の主体的な見守り・助け合い体制の構築、支援が必要となっています。

こうした背景を受け、「竜王スマイルエイジングプラン2024」は中長期先を見据え、地域包括ケアシステムの更なる深化・推進に向けた取組を策定します。また、地域住民や地域の多様な主体が参画し、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現を目指すものとします。

策定にあたっては、竜王町総合計画をはじめとする国・県・町の関連計画・指針との整合を図ります。

2. 計画の期間



本計画は、令和7（2025）年、令和22（2040）年を念頭に置き、令和6（2024）年度から令和8（2026）年度までの3か年を1期とする計画です。

